



1695
3



鴨長の寝え物語才三

道則女よめで魂成りて事

陽成院沙汰位にてりし時。遊は道則宣旨渡り

法奥へらるるよ。信濃守の御月れはよ宿り

あさ。さぬの。海うけしてとてさ。昔後叙

司八田の持刀人よ。高島も。引果して。出ぬる則い

ころも。人喜。米六。新。お。り。き。ね。は。な。を。さ。り。ま。て。

き。す。ず。い。わ。の。こ。も。ね。一。回。あ。る。ま。は。よ。毎。月。を。を。て

ま。り。し。て。お。も。い。ん。が。お。も。い。げ。な。い。ま。い。ら。う。が。あ。す

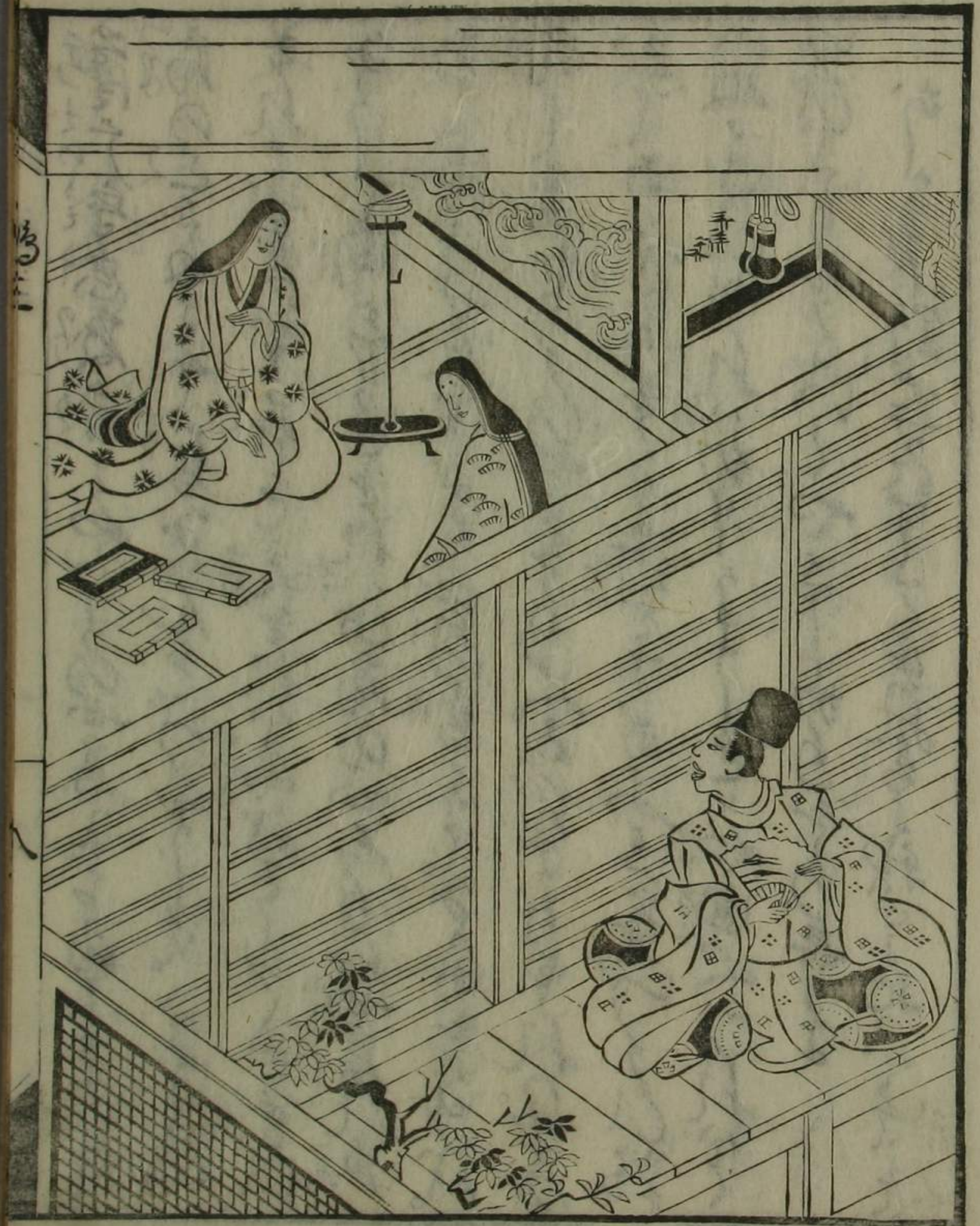
ま。い。ら。う。ま。い。ら。う。ひ。ら。り。そ。う。が。あ。ら。ま。の。す。ま。ん。



巻三



ありぬ。こと事れ。なうま。い物成。ものよほし
 うゆる事。ありぬ。こと。あひひて。波のかりぬ
 け行。き事。ありま。い。た。は。ま。ま。りて。ね
 をま。い。ける。皆。ごと。び。あ。う。そ。ひ。こ。み。た。ま。り
 かりて。ま。う。ら。せ。古。く。昔。昔。を。こ。こ。ん。ん。う。あ
 狸。ま。り。て。登。登。れ。う。人。び。お。う。う。ま。事。ま。ご
 を。ま。き。り。出。門。び。う。い。ま。き。い。う。わ。て。ま。り
 け。い。ま。め。て。ま。い。ま。せ。の。ひ。ま。の。は。れ。情。の。う
 け。の。か。え。ま。つ。り。み。ん。ご。わ。い。て。ま。り
 忠。交。女。の。か。い。事



はらまのうきやのり。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
障子守患な。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
病のごさぬまて。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
きれど。事のがう取と。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
おて。野もせむす。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
聞て。庭をつひ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
出て。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
いぬと。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
か。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ

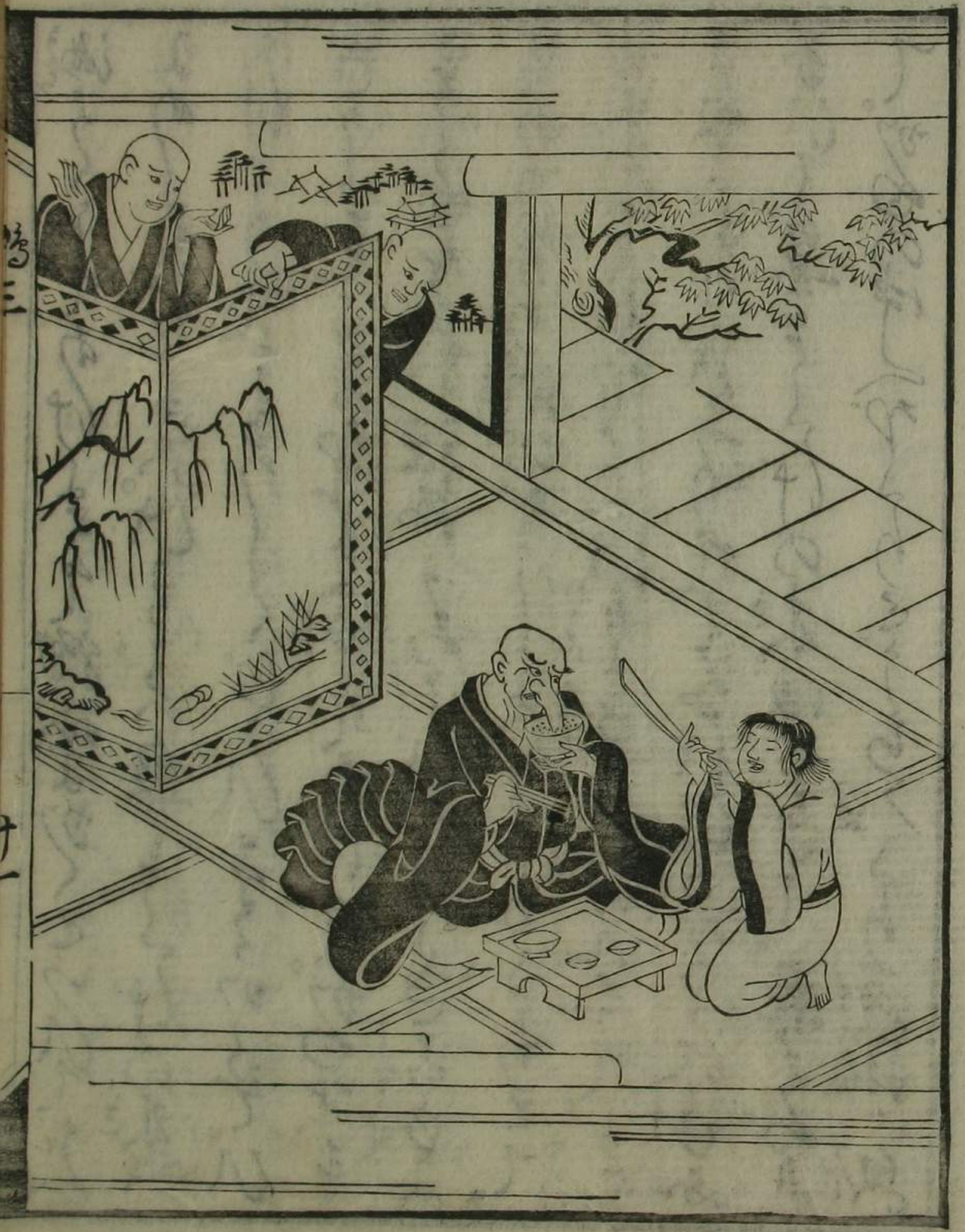
異域あるは作の事

池の尾は。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
ゆて。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
人さぬ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ
あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ。あまのやりの女房よ。そのよしんえ

うりきりみぢすとわりきれは。おろぐひよりら
てぞみきるくたはあらしうさふて。なまはた
きくぬまの。つづくしせり。そのうめさ事
くぎりあし。扱は湯をくくして。たき
内は鼻のこをふかく。穴をあけて。鼻はじ
とび一火のやのはの。息をあてぬ。やう
て。よくげで。わげきれ。まのこ
それを。いれあやうして。鼻の下は板をま
て。どより。なまを。びくびくし。の穴
きて。きりり。やうみ。の。それをくく

め。息を。出れ。て。ま。毛ぬき。おて。ぬけ。
回。か。こ。り。の。息。を。い。て。さ。り。と。の。わ
い。び。く。へ。ぬ。け。て。ま。あ。を。ま。あ。り。き
湯。よ。へ。て。ま。あ。を。ま。あ。り。き。く。ま。あ
て。こ。の。い。れ。鼻。の。ま。あ。り。ぬ。こ。い。る。ま。あ
ま。あ。り。ぬ。こ。の。ま。あ。り。ぬ。こ。の。ま。あ
の。ま。あ。り。ぬ。こ。の。ま。あ。り。ぬ。こ。の。ま。あ
つ。ま。あ。り。ぬ。こ。の。ま。あ。り。ぬ。こ。の。ま。あ
む。り。あ。る。板。の。ひ。ろ。い。す。が。く。あ。る。板。鼻。の
下。ま。あ。り。ぬ。こ。の。ま。あ。り。ぬ。こ。の。ま。あ

させておくひまのこころをわけてあげさる
 何れあつてあけまばらうをさるお
 とくはどこれには師一人を鼻をさけさ
 だめおろすびにたをせりあめは師
 心わくえせりさるなりのおろかしく
 けんすまよ鼻をわらうあつてあつて
 下よあつてあつてあつてあつてあつて
 ちやあつてあつてあつてあつてあつて
 おろすまよ鼻をわらうあつてあつて



此書乃... 卷一... 七...
 一... 二... 三... 四... 五... 六... 七... 八... 九... 十...
 十一... 十二... 十三... 十四... 十五... 十六... 十七... 十八... 十九... 二十...
 二十一... 二十二... 二十三... 二十四... 二十五... 二十六... 二十七... 二十八... 二十九... 三十...
 三十一... 三十二... 三十三... 三十四... 三十五... 三十六... 三十七... 三十八... 三十九... 四十...
 四十一... 四十二... 四十三... 四十四... 四十五... 四十六... 四十七... 四十八... 四十九... 五十...
 五十一... 五十二... 五十三... 五十四... 五十五... 五十六... 五十七... 五十八... 五十九... 六十...
 六十一... 六十二... 六十三... 六十四... 六十五... 六十六... 六十七... 六十八... 六十九... 七十...
 七十一... 七十二... 七十三... 七十四... 七十五... 七十六... 七十七... 七十八... 七十九... 八十...
 八十一... 八十二... 八十三... 八十四... 八十五... 八十六... 八十七... 八十八... 八十九... 九十...
 九十一... 九十二... 九十三... 九十四... 九十五... 九十六... 九十七... 九十八... 九十九... 一百...

一
 四

